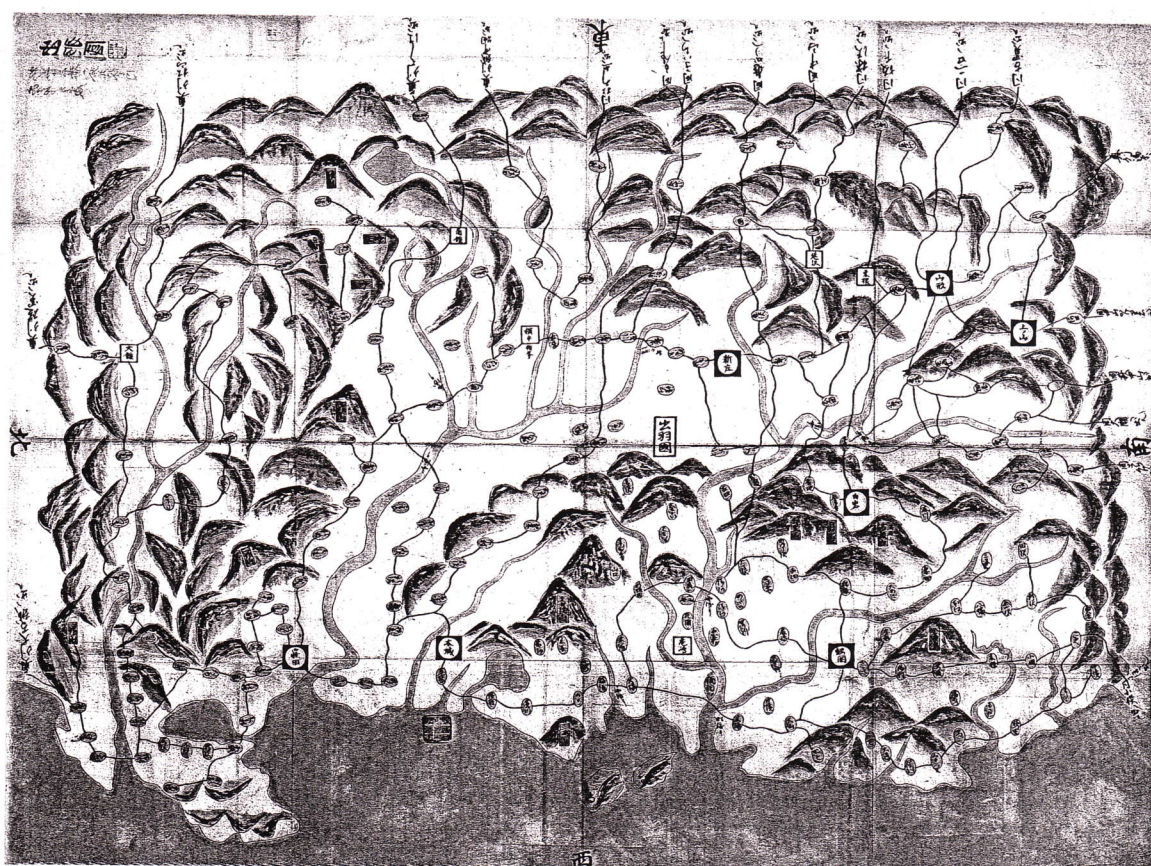


平成17年度秋田県公文書館ミ二展示

日本六十余州国々 切絵図の世界



期間 前期 平成17年 5月31日(火)～ 7月22日(金)
後期 12月 6日(火)～ 2月17日(金)

場所 秋田県公文書館 2階 特別展示室

ミ二展示解説会

平成17年 6月14日(火) 秋田県公文書館 3階 多目的ホール

はじめに

平成17年4月1日、秋田県立図書館「古文書班」は秋田県公文書館に再移管され、秋田県公文書館は「公文書班」・「古文書班」一体となって再スタートを切りました。

秋田県公文書館には、約6万点にも及ぶ古文書類が保存されております。そのなかに、江戸時代初期の寛永年間に巡見使を通して全国諸藩から幕府に提出された絵図を佐竹氏が後世に縮写したと考えられる「日本六十余州国々切絵図」という史料群があります。

全国68国分すべての絵図を一括して保存しているのは、山口県公文書館と当館の2館のみといわれています。とりわけ、当館所蔵の絵図は彩色も豊かであることから、全国的に見ても貴重な史料であるといえます。

そこで、これを機会に皆様にご紹介したいと思い、ミニ展示『日本六十余州国々切絵図の世界』を開催することにしました。

写本にして略図という二次的史料とはいえ、全国を網羅した現存するもっとも古い内容の徳川幕府の国絵図であることから、秋田のみならず地理的情報のとぼしかった江戸時代前期の全国の様子を知る手がかりになるものと思います。

『日本六十余州国々切絵図』について

「日本六十余州国々切絵図」は、江戸時代初期の寛永10年（1633）に江戸幕府が、国情視察のため全国に派遣した国廻り上使（巡見使）によって集められた諸国の国絵図を、有力大名が写したものと考えられていて、秋田藩佐竹家においてもこれらの国絵図を模写して家蔵史料として伝来していたと思われます。

江戸幕府は、慶長・正保・元禄・天保期に国家の統率者としての立場から、国単位の地図である国絵図と土地の台帳である郷帳の作成を諸国の大名に命じ、それを提出させて幕府文庫（官庫）に保管しました。こうした国絵図と郷帳（郷村帳）を全国的規模で組織的に徴収したのは、慶長・正保・元禄・天保期の4回でしたが、このほか寛永年間にも、幕府は諸国へ派遣した上使（巡見使）によって全国の国絵図を集めていることから、これを含めれば全部で5回ということになります。

それに対して、今回の「日本六十余州国々切絵図」は上記の幕府が提出させた正規の国絵図のような巨大なものではなく、陸奥国（現在の青森県・岩手県・宮城県・福島県）・出羽国（現在の秋田県・山形県）などを例外とすれば、多くは縦・横1メートル前後の比較的手軽に取り扱える程度の大きさになっています。縮尺はおおよそ1里を2～3寸程度で作成したものと考えられます。その描写・図示内容は簡略であって、彩色も正規の国絵図のような重厚な極彩色ではなく、全般に色調も薄めであって本来の国絵図の模写図であることを思わせます。

絵図の構成は松前（現在の北海道）と琉球（現在の沖縄県）を除く全国68国分からなっておりますが、68国分すべての絵図を一括して保存しているのは、全国でも山口県文書館と当館の2館のみといわれています。しかも、当館所蔵の絵図には備前国（現在の岡山県）の絵図が2枚あり、合わせて69枚となっております。また、他館所蔵絵図に比べ

て彩色も豊かであることから、質・量共に全国的に見てもたいへん貴重な史料であるといえます。

記載様式はもちろん描法・彩色まで全部が統一的に仕立てられていますが、どの国絵図にも書写年代など成立を語る記載はありません。別様式のもう1枚の備前国絵図はおそらく別に模写されたものがこの絵図のなかに紛れ込んだものであろうと考えられます。

様式と内容の特徴

< 1 > 図面の配置

方位は「東」「西」「南」「北」の文字記号をもって、図面の四辺ないしは四隅に向き合わせて表示しています。図面の構図に関しては、ほとんどの絵図は海側から山側を向いての方向で描かれています。

< 2 > 地勢

国境線を明示しないで国内の地勢を鳥瞰図風に立体的に描写しています。海・川・湖の水系を陸地と塗り分け、山地や丘陵地を山形模様で描いています。

< 3 > 国名

どこの国の国絵図であるかが明確にわかるように、図中のほぼ中央部に、やや大きな長方形の枠で囲み国名を記しています。

< 4 > 居城

大名の「居城」の表現にはいずれも四角の中に丸を描き、四隅を墨で塗りつぶした図式を用いていて、その四角の枠内に城名を記入しています。

< 5 > 古城

「古城」は「居城」と区別して、「居城」よりもやや小さめの四角形の図式で表し、枠内に「何々古城」または単に「古城」とのみ記しています。

< 6 > 御殿・御茶屋

大きな丸輪の枠内を橙（だいだい）色で着色して、その上に「御殿」「御茶や」と墨で書かれています。江戸時代初期に將軍の休泊施設として設置されていた「御殿」と「御茶屋」は、宿泊用の規模の大きいものが「御殿」、休憩用の小さいものが「御茶屋」と呼ばれていました。このような施設は上洛用として江戸～京都間に、日光参詣用として江戸～日光間に、また、江戸近郊には鷹狩などのために設置されていました。したがって、「日本六十余州国々切絵図」で「御殿」および「御茶屋」の図示される範囲は、関東地方を中心に東は下野・上野国から西は美濃・近江国までに及んでいます。

< 7 > 御番所

「御番所」は「御殿」・「御茶屋」と同じように大きな丸輪の枠内を橙（だいだい）色で着色して、その上に「御番所」と書かれています。この「御番所」が図示されているのは、安房国の房総半島突端（館山付近）の2か所のみです。

< 8 > 村と郡区分

「村」は小判形の「村形」で黄色に塗りつぶした枠内に村名のみが記されていて、村高は記入されていません。郡ごとの「村形」の色分けもされていません。また、「村」は全村を図示するのではなく、道筋の村を主にして主要な村に限られています。各「郡」には、橙（だいだい）色に塗りつぶした細い長方形（短冊形）の枠内に該当の郡名が記されています。図中の「郡」記載は、寛文4年（1664）の朱印改めによる郡数改正以前の内容で記されていることがわかります。ただ、全国のおよそ半数にもおよぶ関東・東海・東山・奥羽・九州の諸国では、「郡区分」がされていませんし、図中において郡名の記載もありません。

< 9 > 郡界線

「郡区分」の示されている諸国の絵図では、郡名の表示とともに「郡界線」が引かれています。郡界筋を道筋と同じ朱線で引いているため、両者の区別がつかなくなっています。また、「郡区分」のなされていない諸国の絵図では、「郡界線」は引かれていません。

< 10 > 交通注記

道筋は、本道と間道を区別されておらず、すべて細い朱線で表しています。本道筋にも一里塚は示されていませんし、里程の注記も見ることができません。ただ、「出羽国」と「常陸国」に限っては、一部の渡河点に「舟渡」の注記を見ることができます。また、道筋が国境を越える所には道筋を引き捨てにして、その道が隣国のどこへ至るかを必ず注記していることがわかります。そして、九州諸国の絵図では、「峠名」を文頭に入れて表現していますが、北国街道諸国の絵図では、文尾に「峠名」を付けた表記をしていることがわかります。

参考文献

- | | | | |
|------|------------------------------|-----------|-------|
| 川村博忠 | 「寛永十年巡見使国絵図『日本六十余州図』解説」 | 柏書房 | 2002年 |
| 川村博忠 | 「寛永国絵図の縮写図とみられる『日本六十余州縮写国絵図』 | | |
| | | 歴史地理学176 | 1995年 |
| 川村博忠 | 『国絵図』日本歴史叢書44 | 吉川弘文館 | 1990年 |
| 川村博忠 | 『江戸幕府撰国絵図の研究』 | 古今書院 | 1984年 |
| 白井哲哉 | 「日本六十余州国々切絵図」の地域史的考察 | 駿台史学104 | 1998年 |
| 菊池保男 | 「資料紹介 日本六十余州国々切絵図」 | 公文書館だより14 | 2001年 |
| 加藤昌宏 | 「資料紹介 「東国絵図」について」 | 公文書館だより12 | 2000年 |
| | 『岩波日本史辞典』藩変遷表 | 岩波書店 | 1999年 |

◎三二展示史料一覧◎

No.	整理記号・番号	史料名	原寸
1	A290-114- 1	日本六十余州国々切絵図 出羽国	114×155
2	A290-114- 2	日本六十余州国々切絵図 陸奥国	157×244
3	A290-114- 3	日本六十余州国々切絵図 常陸国	118×160
4	A290-114- 4	日本六十余州国々切絵図 下野国	81× 95
5	A290-114- 5	日本六十余州国々切絵図 上野国	100×130
6	A290-114- 6	日本六十余州国々切絵図 武蔵国	115×126
7	A290-114- 7	日本六十余州国々切絵図 下総国	99× 82
8	A290-114- 8	日本六十余州国々切絵図 上総国	82×101
9	A290-114- 9	日本六十余州国々切絵図 安房国	94× 81
10	A290-114-10	日本六十余州国々切絵図 相模国	79× 93
11	A290-114-11	日本六十余州国々切絵図 越後国	82×113
12	A290-114-12	日本六十余州国々切絵図 佐渡国	93× 68
13	A290-114-13	日本六十余州国々切絵図 信濃国	120×156
14	A290-114-14	日本六十余州国々切絵図 甲斐国	81× 84
15	A290-114-15	日本六十余州国々切絵図 駿河国	82×103
16	A290-114-16	日本六十余州国々切絵図 伊豆国	81×110
17	A290-114-17	日本六十余州国々切絵図 遠江国	97× 82
18	A290-114-18	日本六十余州国々切絵図 参河国	104× 82
19	A290-114-19	日本六十余州国々切絵図 尾張国	83×110
20	A290-114-20	日本六十余州国々切絵図 美濃国	101×136
21	A290-114-21	日本六十余州国々切絵図 飛騨国	82×102
22	A290-114-22	日本六十余州国々切絵図 越中国	76×102
23	A290-114-23	日本六十余州国々切絵図 能登国	55× 97
24	A290-114-24	日本六十余州国々切絵図 加賀国	68×104
25	A290-114-25	日本六十余州国々切絵図 越前国	69×105
26	A290-114-26	日本六十余州国々切絵図 若狭国	83×104
27	A290-114-27	日本六十余州国々切絵図 近江国	115×161
28	A290-114-28	日本六十余州国々切絵図 山城国	101×135
29	A290-114-29	日本六十余州国々切絵図 伊賀国	69× 84
30	A290-114-30	日本六十余州国々切絵図 伊勢国	96×125
31	A290-114-31	日本六十余州国々切絵図 志摩国	63× 97
32	A290-114-32	日本六十余州国々切絵図 大和国	101×149
33	A290-114-33	日本六十余州国々切絵図 紀伊国	80× 95
34	A290-114-34	日本六十余州国々切絵図 和泉国	74×103
35	A290-114-35	日本六十余州国々切絵図 河内国	90×146

36	A290-114-36	日本六十余州国々切絵図 摂津国	108×114
37	A290-114-37	日本六十余州国々切絵図 丹波国	68× 94
38	A290-114-38	日本六十余州国々切絵図 丹後国	68× 94
39	A290-114-39	日本六十余州国々切絵図 但馬国	94×121
40	A290-114-40	日本六十余州国々切絵図 播磨国	103×149
41	A290-114-41	日本六十余州国々切絵図 因幡国	95×141
42	A290-114-42	日本六十余州国々切絵図 伯耆国	81×149
43	A290-114-43	日本六十余州国々切絵図 出雲国	107×145
44	A290-114-44	日本六十余州国々切絵図 石見国	94×145
45	A290-114-45	日本六十余州国々切絵図 隠岐国	68×101
46	A290-114-46	日本六十余州国々切絵図 美作国	109×142
47	A290-114-47	日本六十余州国々切絵図 備前国	172×177
48	A290-114-48	日本六十余州国々切絵図 備前国(別)	101×144
49	A290-114-49	日本六十余州国々切絵図 備中国	101×144
50	A290-114-50	日本六十余州国々切絵図 備後国	100×143
51	A290-114-51	日本六十余州国々切絵図 安芸国	101×142
52	A290-114-52	日本六十余州国々切絵図 周防国	101×149
53	A290-114-53	日本六十余州国々切絵図 長門国	95×141
54	A290-114-54	日本六十余州国々切絵図 淡路国	99×108
55	A290-114-55	日本六十余州国々切絵図 讃岐国	60×109
56	A290-114-56	日本六十余州国々切絵図 阿波国	79×108
57	A290-114-57	日本六十余州国々切絵図 伊予国	93×109
58	A290-114-58	日本六十余州国々切絵図 土佐国	60×107
59	A290-114-59	日本六十余州国々切絵図 対馬国	47× 92
60	A290-114-60	日本六十余州国々切絵図 壱岐国	55× 90
61	A290-114-61	日本六十余州国々切絵図 筑前国	68× 96
62	A290-114-62	日本六十余州国々切絵図 筑後国	55× 82
63	A290-114-63	日本六十余州国々切絵図 肥前国	79×109
64	A290-114-64	日本六十余州国々切絵図 肥後国	68× 91
65	A290-114-65	日本六十余州国々切絵図 豊前国	68× 81
66	A290-114-66	日本六十余州国々切絵図 豊後国	81×105
67	A290-114-67	日本六十余州国々切絵図 日向国	79× 99
68	A290-114-68	日本六十余州国々切絵図 大隅国	71×109
69	A290-114-69	日本六十余州国々切絵図 薩摩国	80× 97

閲覧請求・問い合わせは秋田県公文書館カウンターまで